

日本スポーツ少年団シニア・リーダースクール 概要

日本スポーツ少年団では、スポーツ少年団リーダーを組織的に整備し、リーダーとしての役割の理解や資質の向上をはかり、将来のスポーツ少年団指導者を育成するために「日本スポーツ少年団リーダー制度」を定め、単位団指導者や都道府県・市区町村スポーツ少年団との連携によってジュニア・リーダー、シニア・リーダーの養成を行っています。

1. シニア・リーダースクールの目的

シニア・リーダースクールとは、日本スポーツ少年団が、シニア・リーダーの資格を認定するために開設しているもので、中学を卒業した15歳から20歳未満の少年団員（リーダー）を対象として、全国から参加者を一堂に集めて4泊5日の宿泊研修を行うものです。このスクーリングとその後には課せられる通信研修の評価をあわせて、シニア・リーダーの資質に到達しているかどうか判定され、合格したリーダーに資格を認定しています。

そのため、シニア・リーダースクールは、「スポーツ少年団の単位団やリーダー会の活動において模範となって活動できる知識や技能を習得させる」という使命があります。その使命を到達するために、次のような2つのスクーリングの目的を掲げています。

1) シニア・リーダーとしての個々の資質と技能を向上させる

スポーツ少年団のシニア・リーダーとして求められる最低限の知識と技能を習得させる

2) 指導者に向けた継続活動を視野にいれ、自らのリーダー活動を振り返り、今後のリーダー活動の改善点を明らかにする

参加者の個別課題に対応し、班活動やグループワークを通じた気づきを重視する

2. スクーリングの内容

スクーリングでは、上記の2つの目的を達成するために課題を設定し、それを達成するために学習活動、グループ活動、スポーツ指導実践などを通じて、参加したリーダー一人ひとりの知識や技能を高めることができるようにプログラムを設定しています。

【学習活動】 全体講義(理念と歴史、組織と役割、活動計画、安全管理、発育発達、国際交流)、実習

【グループ活動】 班別活動、係別活動、テーマディスカッション、早朝活動、集団宿泊生活

【スポーツ指導実践】 小学生の団員を対象としたスポーツ活動の企画運営評価

3. 通信研修および期間について

スクーリング終了後、11月までを通信研修期間とし、スクーリングでの班の課題や自分の課題を団活動の中でどのように解決していくかという実際の取り組み期間とします。

4. シニア・リーダーの認定について

スクーリングおよび通信研修が修了したリーダーは、日本スポーツ少年団が「日本スポーツ少年団シニア・リーダー」として認定し、平成23年3月に認定証と認定品を交付します。

(平成21年度までのシニア・リーダー認定者数は、7,974名)